

Title	利用教育、大学図書館の生命線
Author(s)	片山, 淳
Citation	(2006)
Issue Date	2006-09-08
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/26314">http://hdl.handle.net/2433/26314</a>
Right	
Type	Presentation
Textversion	author

# 今、新たな大学図書館のミッションを考える 利用教育、大学図書館の生命線

私立大学図書館協会研究集会

平成18年9月8日

京都大学附属図書館

情報サービス課長 片 山 淳



# 利用教育、大学図書館の生命線 はじめに

## 自己紹介

1. 図書館サービスの種類と利用教育
2. 利用教育とは何か
3. 京都大学附属図書館における事例
4. 利用教育、大学図書館の生命線
5. おわりに



利用教育、大学図書館の生命線

# 1. 図書館サービスの種類と利用教育

## ❁ 図書館サービスの種類

資料提供サービス

情報サービス

利用教育・情報リテラシー

図書館の文化活動

## ❁ 利用者に応じた図書館サービス

## ❁ サービスに関わる問題と危機管理



# 利用教育、大学図書館の生命線

## 2. 利用教育とは何か

2-1. 利用教育とは

2-2. 利用教育の意義

2-3. 利用教育のガイドライン

2-4. 情報教育と利用教育

2-5. 大学のカリキュラムと利用教育  
⇒ 情報フルーエンシー教育



# 利用教育、大学図書館の生命線

## 2-1. 利用教育とは

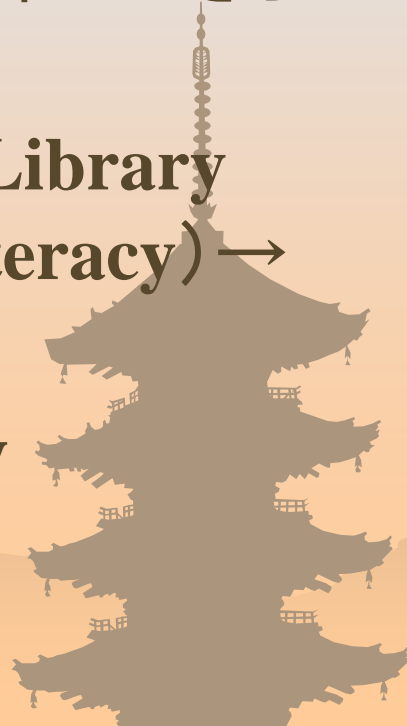
- ❁ Library Use(r) Education
- ❁ 図書館にとって「必然的」なもの
- ❁ Reference Serviceの一環→→利用者サービスの一つ
- ❁ 「図書館の使い方」に留まらず「すべての利用者が自立して図書館を含む情報環境を効果的・効率的に活用できるようにするために、体系的・組織的に行われる教育」的なサービス
- ❁ 図書館が扱うメディアの多様化・高度化が進み、体系的・組織的「指導プログラム」の必要性が高まってきた



# 利用教育、大学図書館の生命線

## 2ー2. 利用教育の意義

- ❁ **利用の効率化**: 利用者のニーズに応じた「図書館の使い方」を修得することで資源を活用
- ❁ **利用の促進**: 潜在的な利用者に対して、図書館利用の有効性や有用性を周知し、既存の利用者にはさらに活発な図書館利用を促進
- ❁ **利用者の育成(skill-up)**: 図書館を使う力(Library Literacy)や情報を使う力(Information Literacy) → 米国では基準が策定され、指針が公表
- ❁ **ACRL:Information Literacy Competency Standards for Higher Education 2000**



# 利用教育、大学図書館の生命線

## 2ー3. 利用教育のガイドライン

“Library Orientation” と “Bibliographic Instruction”

日本図書館協会・図書館利用教育委員会

「図書館利用教育ガイドライン」2001年3月

＊ 大学図書館で実施すべき10項目と手順

1. 理念確認、2. 組織確立、3. 現状分析
4. 目的・目標設定、5. 方法・手段設定
6. 財政確立、7. 担当者の採用と研修
8. 施設・設備、教材、広報手段の提供
9. 協力体制の確立、10. 評価の定量化





# 利用教育、大学図書館の生命線

## 2ー4. 情報教育と利用教育

- ❁ 情報教育の十八年度問題
- ❁ 全学共通「情報教育科目」と学部提供の「情報基礎教育科目」のあり方
- ❁ 京都大学における全学共通情報教育モデル
- ❁ 統一的な科目を設計するのではなく、自由の学風を尊重し、学生の自主的な勉学意欲に応えるために、多様な選択が行えるよう配慮、内容の高度化を図る
- ❁ リレー講義による具体的利用教育を実践  
→ 全学共通科目「情報探索入門」



## 2-5. 情報フルーエンシー教育

Fluency 流暢に、流れるように、淀みなく、能弁

\* コンピュータやインターネットなどの使い方に関する教育→→→情報フルーエンシー教育

3本柱 (Skill、Concept、Capability)

\* スキル教育 (情報教育Ⅰ 群科目)

\* コンセプト教育 (情報教育Ⅱ 群科目)

\* ケーパビリティ教育 (情報教育Ⅲ 群科目)

〔出典:「情報フルーエンシー:大学のこれからの『情報教育』」

田中克己教授 (情報学研究科) 共通教育通信 Vol. 5 2005秋〕



利用教育、大学図書館の生命線

### 3. 京都大学附属図書館の事例

- ❁ ガイダンス(新入生)(総合人間学部、附属図書館)
- ❁ 図書館オリエンテーション
- ❁ 3-1. 全学共通科目「情報探索入門」
- ❁ 論文・レポートを書くための文献収集講座
- ❁ Workshop(随時、各種データベース、e-J)
- ❁ On Demand 講習会(キャンパス毎)
- ❁ 3-2. 医学情報の探し方(授業の中で)
- ❁ 教育学研究科社会人専修コース  
「教育人間政策論」



# 利用教育、大学図書館の生命線

## 3-1. 全学共通科目「情報探索入門」

- ❁ 提供部局：附属図書館（代表者：川崎良孝教授）
- ❁ 図書館長以外に5名の教員によるリレー講義
- ❁ 学内の図書館職員（企画担当は参考調査掛、20名近くの図書館職員）による演習
- ❁ 演習は講義担当の教員と図書館職員の協力で実施（教員1名に対して3～4名の職員）
- ❁ 演習毎に課題を出し学生はその課題の一つについてレポートを提出→→→評価材料
- ❁ テキスト：レファレンス事例集「access.txt：文献調査・利用ガイド」（Version 7）
- ❁ 講義録「大学生と『情報の活用』：情報探索入門」（増補版）日本図書館協会



# 利用教育、大学図書館の生命線 「情報探索入門」: 講義のテーマ

- ❁ 「図書館情報、図書館の種類とその機能」
- ❁ 「学問・研究・文献・情報」
- ❁ 「分類の一般概念と分類理論」 ＋演習
- ❁ 「目録情報とその利用法」 ＋演習
- ❁ 「参考資料の種々とその利用」 ＋演習
- ❁ 「インターネット情報およびデータベースとその活用法」 ＋演習



# 利用教育、大学図書館の生命線

## 「情報探索入門」: 講義に対応した演習の内容

- ・「**分類の一般概念と分類理論（演習 1）**」  
本の分類とWebページの分類（リンク集の作成まで）
- ・「**目録情報とその利用（演習 1）**」  
文献と情報の所在を突き止める：演習課題集
- ・「**参考資料の種々とその利用（演習 2）**」  
基礎的な参考図書の概説と参考図書室で実際の演習
- ・「**インターネット情報およびデータベースとその活用法（演習 2）**」  
基本問題（2）と応用問題（1）から三課題を選んでインターネットから情報を収集してレポートを作成する



# 利用教育、大学図書館の生命線 「情報探索入門」:学内外の協力を得て

## 図書館機構と情報環境機構

### 附属図書館研究開発室

情報システム（情報学研究科、学術情報メディアセンター教員）

貴重書・古文文献（文学研究科教員）

企画展示会（テーマに応じて）

蔵書整備・保存（文学・経済学研究科教員）

情報リテラシー（情報探索入門担当教員）

学外の専門家に調査研究員を委嘱



# 利用教育、大学図書館の生命線 「情報探索入門」：受講者アンケート

## 【平成11～16年度】

履修登録者数(学部別、学年別)、講義の内容、演習の内容、  
取り上げたテーマについて、受講して役立ったと思うか、  
期待する内容であったか、補助者が役に立ったか、  
補助者の人数について、この講義を友人・後輩に薦めるか

## 【平成17年度】

最終講義で依頼できず、メールで依頼したため受講生の約30%の回収率

## 【平成18年度】 月曜日5限→→→金曜日3限へ移動

様式変更し評価に点数制を採用。講義ごとにアンケート。質問を受け付け。  
HPから回答を出す。詳細な分析・評価を行う予定。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/tinyd2/index.php?id=6>





# 利用教育、大学図書館の生命線

## 3-2. 医学情報の探し方(授業の中で)

- 3-4月 「図書館の利用について」 医員・研修医オリエンテーション  
4月 「OPACの使い方」 講習会  
「課題解決学習:学術情報の収集:医学・生物系の情報検索」ナノメディシン融合教育ユニット、選択科目 Problem Based Learning
- 4-5月 「文献検索評価法」(社会健康医学基礎スキル) 社会健康医学系専攻専門職学位課程、選択科目  
「医療情報リテラシー」医学科1回生、必修
- 5月 「医科学研究」医科学専攻修士課程1回生、必修科目  
6月 「オンラインジャーナルの使い方講習会」  
「SciFinder Scholar講習会」  
「医学文献の探し方」基礎編(奨励授業)保健学科1回生
- 7月 「UpToDate講習会」  
10月 「D医療情報学(→医療情報リテラシー)」医学科3回生、必修  
「Scopus講習会」  
「医学文献の探し方」(奨励授業)保健学科3回生
- 11月 「PubMed講習会」  
12月 「Web of Science & Derwent Innovations Index」  
1月 「効果的な文献検索結果の活用—EndNote利用—講習会」



## 4. 利用教育、大学図書館の生命線

4－1. 学術審議会の答申に見る利用教育への提言

4－2. 学生の意見や要望を反映

4－3. 教員とのチームワーク

4－4. 利用者とのコミュニケーション

4－5. 業務改善・組織変革の中から



# 利用教育、大学図書館の生命線 学術情報基盤の今後の在り方

## 利用教育への提言：大学図書館のサービス機能の強化

人材確保・育成

専門性・国際性を持った職員のキャリアパスの創出

教育支援サービス機能の強化

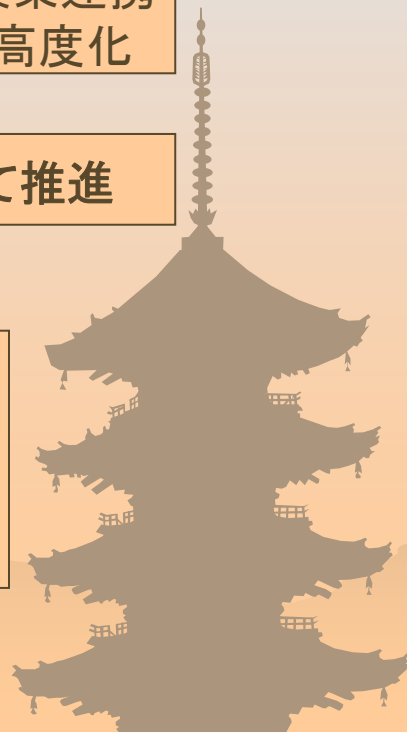
シラバス、指定図書制度、授業連携  
主題等のパスファインダー高度化

情報リテラシー支援事業

教員との連携を強化して推進

利用者ニーズへの対応

電子資料へのニーズを  
的確に把握し、効果的・  
効率的な利用に  
積極的に対応



# 利用教育、大学図書館の生命線 学生の意見や要望を反映して

- ❁ 京都大学学生生活白書(2年に1回の実態調査)  
平成17年:約20%の学生「附属図書館をよく使う」  
20%を超える学生が「学部図書館・室をよく使う」
  - ❁ 「Campus Meeting」(学部・研究所・センターで)
  - ❁ 「キャンパス討論会」(離れた地区で)
- ⇔⇔⇔
- ❁ コミュニケーションの場を設定
  - ❁ 学生の意見や要望を図書館運営に  
反映し、参加意識を醸成



# 利用教育、大学図書館の生命線 学生の意見に見る京大図書館

2年に1回の学生生活実態調査「自由記述」に記入された図書館への意見

平成17年 80人／576／1,626 vs 平成15年 45人／349／819  
4.9% 13.9% 5.5% 12.9%

学部図書館の開館時間、土日開館（12） 京大図書館に満足（11）  
附属図書館の開館時間・期間・土日の開館時間延長（10）  
キャンパスの図書館の充実（9） 蔵書の充実（8） BNC移転問題（8）  
図書館の開館時間を長く（6）  
附属図書館の環境整備（温度調節、静電気対策）（5）  
附属図書館の施設・サービス（5）  
学部図書館の充実（5） 図書館が分散していてわかりにくい（4）  
資料の貸出・貸出期間（4） 夜遅くまで勉強できる場所が欲しい（22時閉館は不便）（3）  
学部図書室の環境整備（3） 図書館の休館日について（2）  
図書館（座席）を増やして（1） 図書館・室のコピーサービスについて（1）  
図書の検索（OPAC）の充実（1）  
学部の初年度に「情報探索入門」のような講義を制度として実施（1）  
図書館の本の装備（1） 職員の対応（1） その他（3）



# 利用教育、大学図書館の生命線 教員とのチームワークで

- ❁ **機関リポジトリ** 京都大学学術情報リポジトリ(試験公開約9,000件)  
コンテンツ:工学研究科の研究成果(約6,000)  
貴重資料画像データ(約3,000)

- ❁ **OCW(OpenCourseWare)** 46科目(7月1日現在)

**総合人間学部5**(シミュレーション概論、連続体力学、計算理学基礎理論、熱力学、統計物理学)、**医学部1**(臓器移植)、**薬学部1**(臨床薬物学)、**工学部6**(物理工学・基礎情報処理、情報学・画像処理論、同・コンパイラ、同・アルゴリズムとデータ構造入門、電気電子工学・自動制御工学、同・知能型システム論)、**農学部5**(応用微生物学実験、生物有機化学Ⅰ、造園学実習Ⅱ、コンピュータ利用と森林科学、農業の新戦略)、**経済学研究科2**(ITビジネスマネジメント、マネジメントコミュニケーション)、**理学研究科2**(霊長類の進化、非平衡統計)、**医学研究科5**(社会健康医学基礎スキルⅠ:文献検索・評価法、同Ⅱ:研究デザイン法、疫学コア、医療評価研究、研究プロトコル・研究マネジメント)、**工学研究科2**(電気電子基礎技術の展望、情報メディア工学特論)、**人間・環境学研究科1**(ウイルス多様性科学2)、**情報学研究科1**(電気電子基礎技術の展望)、**全学共通科目15**(国際通貨論、現代の大学・大学生論A、健康科学、現代物理学、\*地球環境政策論IB、物理学概論、熱力学、計算理学基礎論、統計物理学、地球環境学のすすめ、環境形成論、\*朝鮮・韓国学入門、医療の質と経済・社会・制度、遺伝学、\*情報探索入門:図書館とインターネット情報の利用) \*リレー講義

# 利用教育、大学図書館の生命線 利用者とのコミュニケーションの中から

## ❁ 「Suggestion Box」:意見箱とHPへの投書

「監事監査報告書」(平成16年度)の指摘事項

「学生の要望を取り入れ、参加意識の持てる仕組みの実現」に基づき  
平成17年11月に設置(11月12日～3月末までに 35件)

### ＜意見の内容＞

1. Back Number Centerの移設(25件)
2. マイクロフィルムReader Printer(2件)
3. Media Commons(2件)
4. Open Space Laboratory(1件)
5. 開館期間、貸出期間延長(1件)
6. OPAC検索(1件)
7. HPのレイアウト(1件)
8. ギリシア語辞典(1件)
9. 学内教員(数学)への相談(1件)



# 利用教育、大学図書館の生命線 業務改善・組織変革の中で

## ❁ 組織：センター化、フラット化、グループ化

「業務センター」「支援センター」：集中処理による効率化

「フラット化：課長補佐、専門員、掛長」：意思決定の迅速化

「グループ化：利用者支援、貸出・運用」：機動的で柔軟な対応

## ❁ 業務改善：簡素化、外注化・派遣、一元化

18年度以降に実施予定事項：「図書の受入業務等」(一元化)

実施済み事項：「図書の所管換え手続き」

「図書館紹介状発行業務」

「図書館等における貸出・返却、閲覧業務」(簡素化)

「図書館利用者の新規住所登録作業」(一元化)

## ❁ 能力開発・研修：職員参加で活発に展開

【17年度】無線綴じ洋装本の保存と修復、著作権法・個人情報保護法と図書館、NCRおよびAACR2、レファレンスインタビューの技術など

【18年度】会計基準・図書管理規則、図書受入・資産管理、雑誌受入・契約、図書館職員のための接遇マナー、セキュリティ講習会、目録情報の品質管理と書誌作成のポイント、整理技術の最新動向、保存の科学と書庫環境、資料保存実習





# おわりに

## 利用教育、大学図書館の生命線

- ❁ ライフラインとして大学に必須のサービス品目
- ❁ 広報とPR(あらゆる機会を捉えた戦略的な広報)
- ❁ 取り組み体制の整備と柔軟な対応
- ❁ コアコンピテンス(組織として守り育てるべき資産)
- ❁ 職員の養成とキャリアパス(専門職)
- ❁ 望ましい職員像(指導力、企画力、組織力、交渉力、政治力、評価力、問題解決能力、表現力)

